

第 1 回岡山市場再整備検討委員会

岡山市場再整備事業の検討の進め方

令和 8 年 6 月 岡山市

1. 岡山市場再整備事業に関する取組経過

将来構想（令和7年9月策定）における議論とそれを踏まえた岡山市の方針

将来像

“岡山市場らしさ”を創造し、磨き上げる
～「オール岡山市場」でチャレンジ!!～

- 市場機能は将来にわたって必要不可欠
- 市場規模のコンパクト化、独自性を活かした集荷・販売、まちづくり等を推進
- 未来を創造する新しいチャレンジを「オール岡山市場」で推進

取組方針

- 教育機能・情報発信
- まちづくり・地域振興への貢献
- 環境配慮・防災
- 産地・販売先との連携による地場産品の集荷・販売力強化
- 品質・衛生管理の向上
- 広域流通拠点化の推進
- ブランド化・商品の付加価値向上
- 量販店ニーズへの対応
- 将来の岡山市場の立地戦略
- 場内事業者の組織体系の再編・連携体制の構築
- 業務効率化・DX
- 働きやすい環境づくり

●特に、施設・設備面については、

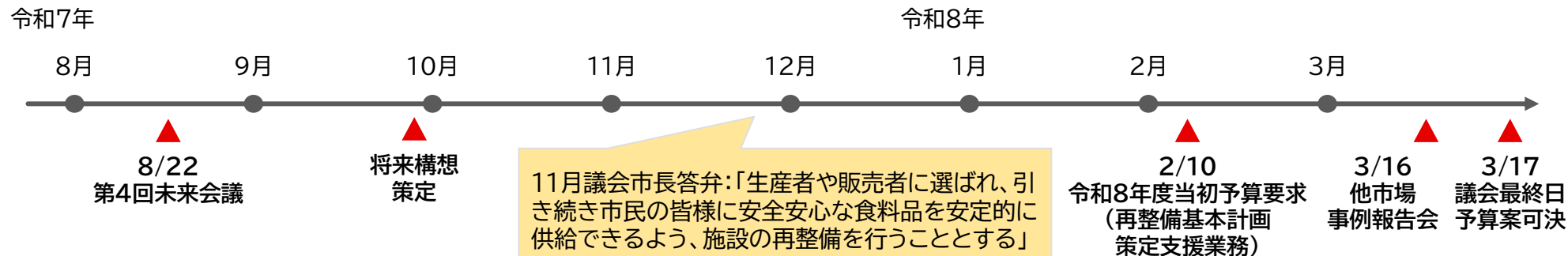
＊「老朽化は喫緊に対応すべき課題」や「集荷・販売力向上のために機能強化を急ぐべき」とのご意見多数

＊他都市事例をみても、市場再整備には、一般的に10年以上(検討開始～完成)を要する見込み

！ 施設・設備更新に向けた検討を早期に開始する必要

1. 岡山市市場再整備事業に関する取組経過

令和7年度中の経過



岡山市卸売市場再整備事業

安全・安心な生鮮食料品等を安定的に供給していくために岡山市卸売市場の再整備に着手します。

再整備基本計画策定 (R8～9年度)

令和8年度 委託料32,500千円

- 内容
- ・再整備案(必要機能・必要規模・ゾーニング等)及び整備・運営手法の検討
 - ・検討会議等運営支援
 - ・市場関係者との協議、関係者ヒアリング等

岡山市中央卸売市場・花き地方卸売市場の現状

直面する課題

取扱数量が減少傾向

(施設規模の適正化)

設備の旧式化

(温度管理設備等)

施設の老朽化

(修繕費用増大の懸念)

改善が必要な作業環境

(作業動線・バリアフリーなど)

このままでは…

- 生産者・小売等販売者に選ばれない市場に
- 場内業者の持続的経営や人材確保が困難に
- 市民・消費者への安全安心な食料品等安定供給が困難に

周辺の状況

○ アクセス性向上

・吉備スマートIC(24時間化・大型車対応)

・岡山環状南道路(R8年度開通予定)

→ 流通のポテンシャルが向上

岡山港から吉備スマートICまでの所要時間が約18分短縮



市の方針

市場は食料品等の安定供給のための基幹的インフラ

市民にとって

市場関係者にとって

産地・販売先にとって

市場は今後も必要

安全・安心な生鮮食料品等を安定的に供給していくために

卸売市場の再整備を行う

岡山市卸売市場再整備事業

再整備によるイメージ

現状



老朽した施設

再整備後



再整備後の施設(イメージ)



福岡市中央卸売市場青果市場

出典:福岡市



外部との間仕切りがない建物

保管場所と作業場所が屋外



閉鎖型の建物



温度管理された保管場所と作業場所の確保

東京都中央卸売市場豊洲市場

東京都中央卸売市場豊洲市場

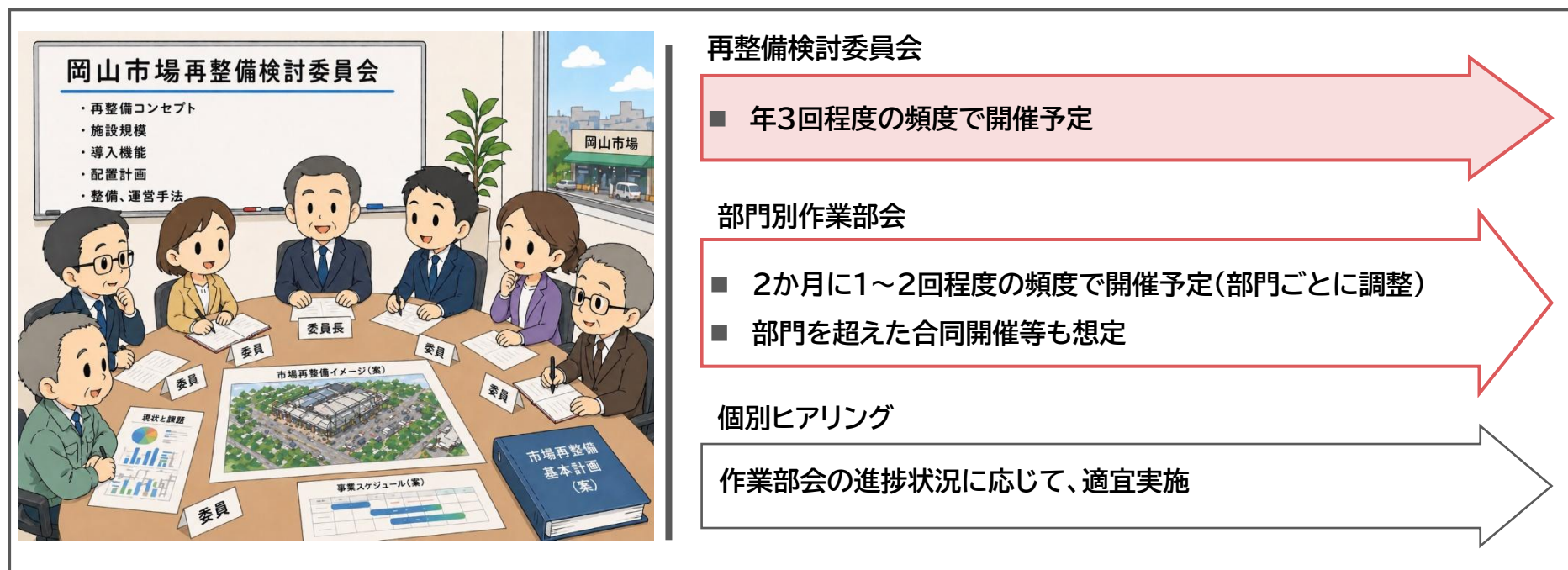
視察時に撮影

2. 令和8年度以降における岡山市場再整備事業の検討の進め方

検討体制

- 学識者や市場関係者を含めた「岡山市場再整備検討委員会」において、再整備の方向性を協議・検討する。
- 再整備検討委員会と連動した実務的な協議・検討の場として、場内事業者を中心とした「岡山市場再整備検討委員会作業部会」を部門別に設置する。
- 再整備検討委員会作業部会と並行して、場内事業者等の個別ヒアリングを実施し、現状・課題・ニーズを丁寧に踏まえた議論を行う。

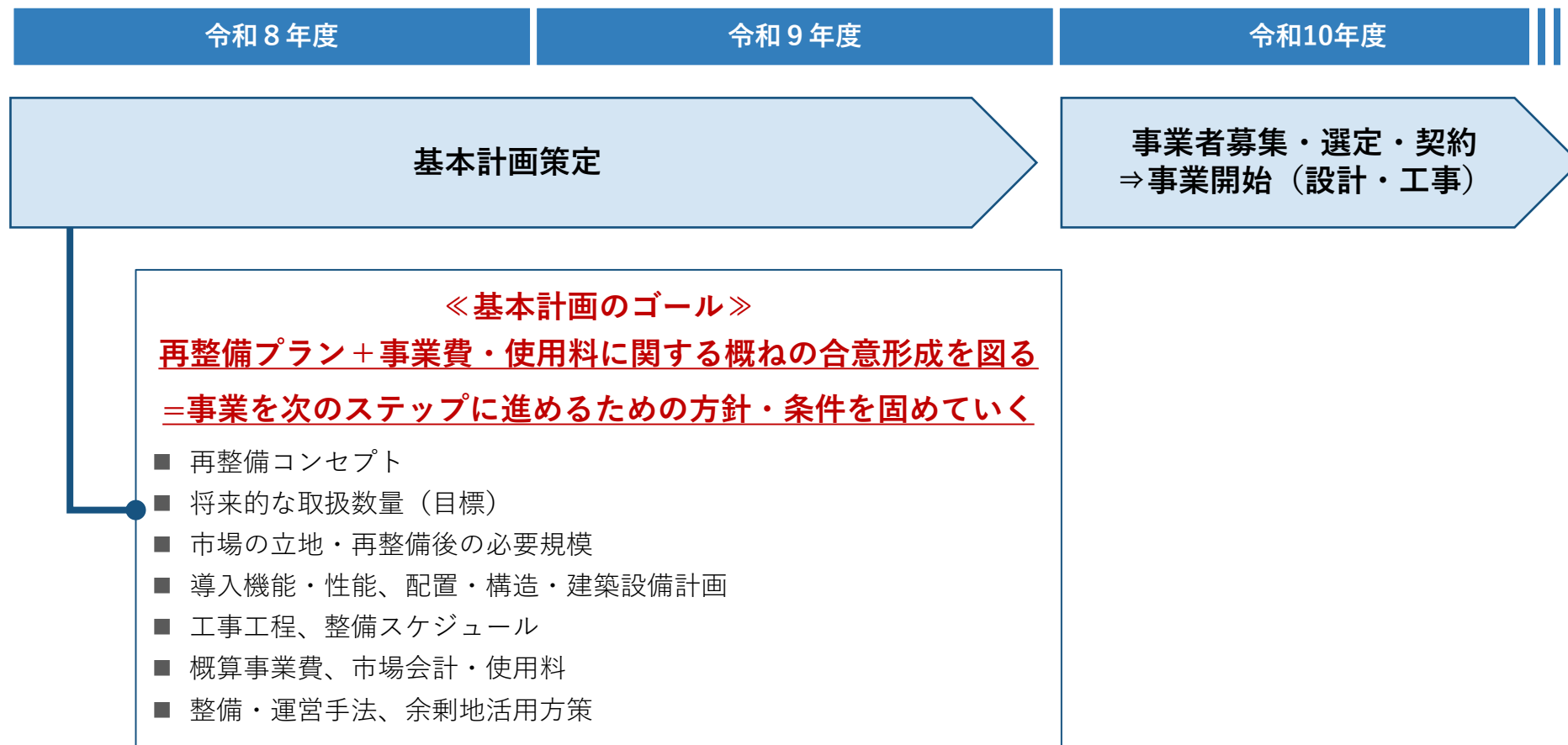
【再整備検討委員会及び再整備検討委員会作業部会・個別ヒアリングのスケジュールイメージ】



2. 令和8年度以降における岡山市場再整備事業の検討の進め方

事業スケジュール

- 再整備検討委員会及び作業部会を中心に高い密度で議論を重ねながら、令和8～令和9年度の約2年をかけて「基本計画」を策定することを目指す。
- 事業手法に応じて、基本計画以降の期間・プロセスは変わる可能性がある。



2. 令和8年度以降における岡山市場再整備事業の検討の進め方

令和8・9年度の検討プロセス

